

低価格で長寿命、次世代照明を新興国へ

ジェット口北九州 酒向 奈穂子

東南アジアではコスト削減やエネルギー効率アップを図るため、省エネ型照明へ切り替える機運が高まっている。豊光社は、次世代照明「ソラナ」で、タイなどアジア新興国で今後拡大が見込まれる省エネ型照明市場への参入を目指す。

低価格で高い省エネ効果

豊光社の次世代照明「ソラナ(solana)」は、液晶テレビのバックライトに使われるCCFL(冷陰極管)を採用したものだ。低価格で長寿命、しかも省エネ効果が高い。一般蛍光灯と比べ、消費電力



球状・管状のソラナ



ソラナの使用例

は40%、CO₂排出量も40%減らすことができる。一般の蛍光灯に比べると寿命は6倍以上、LED照明と同等の約4万時間という長寿命のため1日12時間使用した場合でも10年以上交換する必要がない。さらに、紫外線(UV)を発生しないため防虫効果や、落下しても割れない安全性(強度)、熱への耐久性があるなど優れた品質を誇る。

特筆すべきは、このような高品質を保ちながら、価格はLED照明と比較して4分の1から半額程度と格安であること。日本国内だけでなく、タイなど東南アジアでもエネルギーの効率性アップやコスト削減のため省エネ型の照明へ切り替える機運が高まっている。ただ、省エネ照明への切り替えは、初期投資コストが見合わず、導入を見合わせる場合が多い。そこで、同社が40年以上の実績を持つプリント基板のノウハウと生産方法を見直し、コストダウンを実現した。台湾と日本で部品を製造し、コスト削減のためタイの生産委託先で組み立てる生産方式を採っている。

アジアで市場開拓

豊光社は日本国内で、工場・オフィス、スーパー、ホテル、病院、コンビニエンスストアなど向けに多数の納入実績を誇る。アジア諸

国を中心に海外展開にも積極的に取り組んでおり、まず2010年に韓国で「ソラナ」の販売を開始した。タイでは、委託生産を行うだけでなく、有望な消費市場として販売先を広げている。タイは投資のためのインフラが整っていることに加え、他のASEAN諸国・インドへ展開する際の拠点でもある。

現地の日系代理店を通じて、参入段階では販売量が確保できる製造業を中心に販売し、工場やオフィス内の照明への利用を促す。12年にはタイに現地法人を設立し、本格的な販売を開始する予定だ。「タイでは広い業種でビジネス機会がある。店舗数が多い24時間制のコンビニエンスストアへの導入も一案だ」と、倉光社長は意欲を見せる。

11年9月にマレーシア・クアラルンプールで開催されるアジア最大級の環境・エネルギー総合見本市の「IGEM 2011」に出展を予定し、顧客獲得を進める。

「新しい地域へ参入する際は、製品を理解してもらうだけでなく、信頼を獲得することが重要」と、倉光社長はサンプルとして製品を現地へ持参し、直接照明に触れてもらうことで信頼を得よう努力している。

【会社データ】

設立：1969年
 代表取締役：倉光宏
 資本金：3,000万円
 事業内容：次世代照明の開発・販売、プリント基板設計・製造、直流用電流センサの開発・販売など
 所在地：北九州市小倉北区上到津 2-7-30
 URL：
<http://www.hohkohsya.co.jp/>